



2017年6月12日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰
(電話番号 03-6693-9571)

当社グループ会社(株)ジェネティックラボにおける
がんクリニカルシーケンス受託解析サービス開始について

当社グループ会社の株式会社ジェネティックラボ（代表取締役社長：福永健司、北海道札幌市）は、がんクリニカルシーケンス受託解析サービスを開始いたしますので、お知らせいたします。

【概 要】

がんクリニカルシーケンスとは、次世代シーケンサー^{※1}（NGS）を用いて、がん細胞の遺伝子変異を網羅的に解析し、治療の参考となる知見を得るための解析手法です。NGS は、個別化医療を推し進めるツールとして、今後の展開が大いに期待されています。

ジェネティックラボは、独 QIAGEN（キアゲン）社の GeneReaderTM NGS system^{※2}を用いて、肺がん・乳がん・卵巣がん・大腸がん・悪性黒色腫などのがん関連遺伝子を対象とした受託解析サービスを実施いたします。GeneReaderTM NGS system は、がん関連遺伝子を重点的に選択した解析パネルを利用するため、がんの臨床研究、さらには個別化医療に貢献できるものと期待しております。

ジェネティックラボは、個別化医療に係わる事業の拡大を図ってまいります。

なお、本件による 2018 年 3 月期の業績への影響は未定ですが、積極的に先端医療事業の業績拡大につなげてまいります。

◆ご参考

※1 次世代シーケンサー

DNA を構成する塩基の配列を高速に読み取りゲノム情報を解読する装置の総称です。サンガー法を採用する従来のシーケンサーとは異なる原理を持ち、並列に読み取ることができる DNA 断片数が数百万を超える装置もあります。

※2 GeneReaderTM NGS system

独 QIAGEN®社の次世代シーケンサー GeneReaderTM をプラットフォームに持つシステムです。サンプル調製から解析までのプロセスを簡便化かつ効率化した世界初の完結型 NGS ワークフローを実現します。得られた解析結果は、実績ある遺伝子パネルとバイオインフォマティクスに基づく信頼性の高いレポートで提供されます。

以上